



宮腰内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）の 北方領土隣接地域への来訪について

7月9日～11日、宮腰北方担当大臣が北方領土隣接地域に来訪し、意見交換会や視察を行いましたので、その概要をお知らせします。

※北方領土隣接地域・・・根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町

1 元島民との意見交換会

- 千島連盟の理事長、副理事長、専務理事、北方領土隣接地域の支部長らとの意見交換会を行いました（9日 羅臼国後展望塔、10日 千島会館）。
- 意見交換会では、元島民の方々から
「次の世代につなぐため、墓参などには3世も同行出来るように
お願いしたい」
「共同経済活動についてもしっかり前に進めてもらいたい」
という要望を宮腰大臣にお伝えしました。



北方領土イメージ
キャラクター
「エリカちゃん」

2 地元関係者との意見交換会



地元関係者との意見
交換会（標津町）

- 北方領土隣接地域の町長、副町長、議会議長らとの意見交換会を行いました（9日～11日、各役場等）
- 根室市との意見交換会では、隣接地域への修学旅行誘致や重要港湾である根室港の整備、若い人たちへの情報発信などについて活発な意見交換が行われました。

3 視察

- 北方四島交流活動等の拠点となる根室港や、北方四島交流事業等で使用する船舶「えとぴりか」の視察を行いました。
- 宮腰大臣は「えとぴりか」について
「立派な良い船だと思っている。今年からはWi-Fiも整備されているので、できる限りこの船から情報発信をして欲しい」とおっしゃっていました。



「えとぴりか」の船上視察

☆コラム☆～船舶「えとぴりか」について～

北方領土の問題を平和的に解決するためには、日本人と北方領土に住むロシア人がお互いに理解し合うことが大切だということから、日本とロシア政府で合意して、旅券（パスポート）、査証（ビザ）なしで相互を訪問する「ビザなし交流」や元島民とその家族が故郷を訪れる「自由訪問」が行われています。

「えとぴりか」はこの事業に使用される船であり、主に北海道根室市と北方四島を行き来する旅客船です。総トン数は1,124トン、最大搭載人員は96名となっています。